

・チームが結成されてから約1年、チームItoの中では相当に踏み込んだ発言が出来たと思う。

踏み込み合いたい、という思いを同じくするという安心感が、言いやすさにつながっているのだと思う。

一方で、その他大勢の人には踏み込み切れなかったり、効果的では無いなと感じることも多かった。

これは限られた好条件の重なったチームItoでは出来ていても、まだ応用が利くほどには練習出来ていないということなんだろう。

これまでの勉強会やミーティングで、陽子さんから皆さんの表情から「他に言いたいことある？」「話せた？」と投げかけられたことがたくさんある。

それは「あれ？」というレベル、もしかしたら「あれ？」とすら思わないレベルでの無意識下のちょっとした疑問を流してしまっているということなのだ。

話の流れや残り時間を重視し過ぎて、「伝える」「深く知る」ということを放棄してしまっているのだと思った。

今回、メンバーから目標達成に向けて、他のメンバーに物足りなさを感じているのではと投げかけられた。

そう言えば、私の目標設定への熱い思いはまだ伝えきれていないかもしれない。

同じように、他のメンバーにもまだ秘めている熱い思い(もしかしたら、本人すら気付いていないかもしれない思い)があるのだと思って、その隠れた熱意を会話で引き出すことも、これからチームでやっていくこととも思った。

2024年も、チーム活動が続いていくことを嬉しく思っている。(もちろん、そのチームに自分が居続けるためには、メンバーに見せ続けなければいけない努力があると思っている)

目標設定そのものも、それを支えるチーム活動も、1年を通して走り切った！と思えるように、まずは目の前の2023年第4四半期と、2024年を決めていくことをやっていきたい。

(A.S 40代女性 北海道)